

令和2年度
教育委員会の評価・点検報告書



神津島村教育委員会

目次

1. はじめに

- ① 目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- ② 評価・点検に関する概要・・・・・・・・・・・・ 2

2. 組織及び主な職務権限

- ① 組織・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- ② 主な職務権限・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

3. 教育委員会の取組状況（令和2年度）

- ① 教育委員会の会議の開催状況及び審議内容・・・・ 4
- ② その他の活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

4. 神津島村教育振興プランに基づく重点施策

- ① 神津島村教育振興プランについて・・・・・・・・・・・・ 5
- ② 令和2年度の主な取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5～18

5. 評価・点検の結果

- ① 最終評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19～21
- ② まとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22～25

1. はじめに

① 目的

神津島村教育委員会では、より良い教育環境の推進を図るとともに、村民に対しての教育行政に関する説明責任を果たすため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、毎年、教育行政事務の点検・評価を実施します。

② 評価・点検に関する概要

○ 点検・評価の対象

本評価・点検の対象は、「神津島村教育大綱」に沿って、毎年度定める「神津島村教育振興プラン」に位置付けた6つの重点施策・事業に関連する、神津島村教育委員会の主な取組みを点検・評価の対象とします。

○ 点検・評価の方法

令和2年度の点検・評価に当たっては、「神津島村教育振興プラン」に位置付けた6つの重点施策項目ごとに自己評価を行います。

また、点検・評価の客観性を確保するため、評価委員を選定し、1次評価及び最終評価を行っていただきます。

・教育委員会事務局による自己評価

教育委員会事務局は、令和2年度「神津島村教育振興プラン」を基に、「令和2年度取組状況報告」として自己評価を行う。

・1次評価及び最終評価の決定

評価委員は、教育委員会事務局による自己評価や、その根拠書類を基に、1次評価を行う。その後、評価委員長が総合的に判断し、最終評価を決定する。

○評価委員の任命

評価委員は以下の4名で構成し、評価委員長は教育長職務代理とする。 ※委員長以下50音順。敬称略。

職名	氏名
委員長（教育長職務代理）	土谷 清春
委員（教育委員）	松浦 司
委員（教育委員）	松江 久人
委員（教育委員）	松江 美千代

2. 組織及び主な職務権限

① 組織

神津島村教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第4条第2項の規定に基づき、神津島村長が神津島村議会の同意を得て任命した教育長及び5人の委員で組織される合議体の執行機関として設置されています。

○ 神津島村教育委員会（令和2年4月1日現在）

職名	氏名	就任年月日
教育長	清水 末富	令和元年10月1日
教育長職務代理	土谷 清春	令和元年7月1日
教育委員	松浦 司	令和元年10月1日
教育委員	松江 久人	平成30年10月1日
教育委員	松江 美千代	令和元年10月1日

② 主な職務権限

- 学校教育又は社会教育に関する一般方針を定めること。
- 教育委員会の規則、規程等の制定又は改廃に関すること。
- 教育委員会の所管に係る歳入歳出予算及び経理に関すること。
- 教育委員会及びその他の教育機関の職員の任免並びに学校の教職員の内申その他人事に関すること。
- 教育財産の取得、管理及び処分に関すること。
- 児童生徒の就学事務に関すること。
- 学級編制、教育内容に関すること。
- 教科書その他の教材に関すること。
- 文化財保護に関すること。
- スポーツの振興に関すること。
- 調査及び統計に関すること。
- 図書館の管理運営並びに運営協議会の会議に関すること。
- 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること。

3. 教育委員会の取組状況（令和2年度）

① 教育委員会の会議の開催状況及び審議内容

教育委員会会議は、毎年4回の定例会を開催し、必要に応じて臨時会を行っている。令和2年度は、定例会4回（臨時会は開催無し）を開催し、議案5件について審議を行った。

○教育委員会会議の審議件数一覧表

事 項	件 数	主な内容
学校教育又は社会教育に関する一般方針を定めること。	4 件	神津島村教育大綱の認定について 等
教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること。	1 件	令和2年度教育委員会の評価・点検報告書の認定について

② その他の活動概況

○ 協議会等への出席

教科用図書選定委員会、特別支援教育推進協議会、奨学金貸付選考委員会、総合開発審議会、防災会議

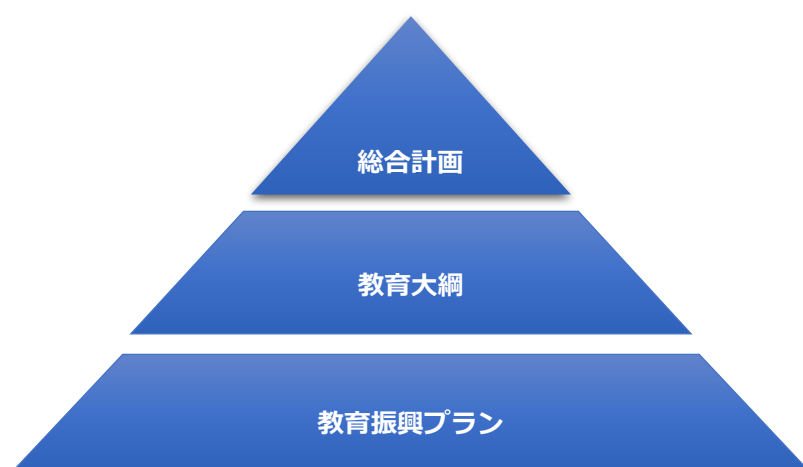
○ 外部の委員会、協議会への参加

教育施策連絡会・・・新型コロナウイルス感染症対策の為、中止
島しょ町村教育委員会教育長協議会・・・全3回開催

4. 神津島村教育振興プランに基づく重点施策

① 神津島村教育振興プランについて

「神津島村教育振興プラン」は、神津島村が取り組む施策展開の方向性を具体的に示したものであり、「教育振興基本計画」（教育基本法第17条第2項）として、神津島村総合計画の理念を踏まえて策定しました。



② 令和2年度の主な取組

重点施策1 「確かな学力を育む教育の推進」


取組	神津島村授業基本モデルの設定
内容	課題把握（めあての確認）→自力解決→学び合い→まとめ→振り返りを基本とし、全ての授業で実践
評価と今後の課題等	「ねらい」と「まとめ」の明確化を意識した授業が定着している。 今後は、神津島村授業基本モデルを全教員が意識し、実践していくことが重要。

取組	加配教員、TT講師を活用した少人数指導、協力的指導の実施
内容	小学校、中学校ともに加配教員を配置することにより、算数・数学教育の推進に取り組んでいる。 特に、小学校についてはTT（ティーム・ティーチ

	ング) 講師を 156 時間 (令和 2 年 11 月 30 日現在) 活用しており、積極的な指導の実施を心掛けている。
評価と今後の課題等	今年度は新型コロナウイルス感染症対策の為、「全国学力・学習状況調査」が実施されなかったが、各学校が独自に実施したところ、小学校 6 年生算数について例年の全国平均点を大きく上回る結果を残した。今後は小学校で培った算数教育を、いかに中学校での数学教育へ繋げるかが課題となる。

取組	高学年対象の「しま小屋」を思考力・読解力を育む場として実施
内容	平成 26 年度より神津島村立図書館で行っている、「しま小屋」事業について、従来の「平日のみ」に加え、高学年 (小学校 3~6 年生) を対象に「土曜日しま小屋」を開設した。 参加登録者は 32 人、12 月までの延べ参加者数は 230 人となっており、主な内容は、高難易度のドリル問題の演習を各自で取り組み、添削をボランティア講師が行うという「学習塾」に似た学習形式になっている。
評価と今後の課題等	1 年間を通して、参加人数も徐々に増えてきている。ワークドリルで比較的難しい問題に挑戦する児童も見られ、競争意識も高まっている。今後は、参加人数を増やし、高学年全体の学力向上に取り組むことが必要になってくる。

取組	島外生徒の受入れの実施
内容	生徒が切磋琢磨して学び合い高め合うことを目的として、平成 27 年度より受け入れを開始した「島外生徒受入れ事業」について、令和 2 年度においても受入れ選考を実施した。昨年度には女子寮建設工事が竣工し、女子生徒の募集人数を 1 名増加して選考した。今年度、神津島村が求める生徒像として掲げたのは、「学業に積極的に取り組み、学力向上を常に目指す高い意欲をもった生徒」や、「他者への思いやりと規範意識をもち、しらすな寮や学校、社会のルールを守ることのできる生徒」などが挙げら

	<p>れ、学生寮や神津高等学校においても真価を発揮できる生徒を基準とした。</p> <p>留学生については、新型コロナウイルス感染症の拡大により、学校と寮が連携を取りながら日常生活を送っていたが、文仮祭（文化祭）等のイベント等にも参加し、学校生活を楽しむ姿が見られた。また、寮生活についても、今年度より新しい寮長を迎え、規律ある生活を送っている。</p> <p>進学実績についても、3年生4名が大学進学となり、進学へ向けた意識の高さが見られる。</p> <p>○男子8名、女子3名（令和3年3月31日現在）</p> 
<p>評価と今後の課題等</p>	<p>今年度卒業する3年生は、進路実現に向けた学習に取り組み、最終学年として行動していた。また、下級生とのコミュニケーションや、学習面での連携も行い、上級生としての役割も十分に果たした。</p> <p>4月からは新入生が入寮し、新たな環境となるが、これまでの留学生が意識してきた「離島留学生としての誇りある行動」を胸に、今後の寮生活を送ることが目標である。</p>


取組	小学校3年生から6年生にタブレットを提供し、自宅でも学習に取り組める環境を整える。
内容	<p>平成30年度より実施している本事業について、令和2年度も継続して実施している。</p> <p>今年度は、新型コロナウイルス感染症対策に伴う臨時休校の影響を鑑み、配布したタブレットを活用した取組をいくつか行った。従来使用していた学習アプリ「やるKey」に加え、Web会議アプリを導入し、今後の遠隔教育を見据えた授業展開を行っている。</p> <p>また、感染状況の深刻化により、来島が難しくなった外部講師について、本タブレットを活用したWeb講演を行うことで、実際に来島して行う講演と遜色ない内容を取り扱った。</p>
評価と今後の課題等	<p>学習アプリがゲーム形式なので、児童のやる気が出て、学習意欲が高まった。また、児童の「つまずき」がどの単元なのかが分かるため、先生にとって有効なツールの1つとなっている。</p> <p>文部科学省が推進する「GIGAスクール構想」の実現が、令和5年度から令和2年度まで前倒しされたことにより、本村においても全児童生徒1人1台端末を配備した。それにより、使用していたタブレットの今後の運用について、見直しが必要となる。</p>

取組	しま小屋事業
内容	<p>平成26年度より神津島村立図書館で行っている、「しま小屋」事業について、継続的かつ積極的な取組を行っている。</p> <p>参加登録者は42名、実施回数は114回、延べ参加人数は3622名となっている。（令和2年12月24日現在）</p> <p>今年度からは、高学年を対象とした「土曜日しま小屋」を実施し、小学生の学習機会拡充に向けて、積極的な取組を行っている。</p>
評価と今後の課題等	<p>現在は学校の講師を活用し事業を行っているが、「地域協働活動」としての観点から、地域人材の活用が望まれる。次年度は、地域人材の活用に向けた普及啓発活動を行っていく。</p>

取組	中学校での学習部の設立
内容	<p>今年度より、中学校にて「学習部」を設立した。主な活動内容は、学習した内容の振り返りや宿題などの課題への取り組み、各種検定の取得にむけた学習活動を行っている。</p> <p>現在、17名の部員が所属しており、ほとんどの部員が兼部している。</p>
評価と今後の課題等	<p>学力向上や、学習習慣の定着を目的として推進している事業であるため、今後も多くの生徒に入部してもらい、規模の拡大を図りたい。</p> <p>また、学力テストの結果や各種検定の取得結果を基に、学習部での活動がどの程度効果をもたらすのかを検証していくことが必要である。</p>

取組	各種検定費用一部補助による受験機会拡充
内容	<p>従来行っている各種検定受験者への受験費用の一部補助について、今年度は補助額の変更を行い、中学校1年生全員が受験機会を得られる体制とした。</p> <p>中学校:英検24名、数検16名 ※数検は1年生のみという実績となっている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、学校の授業時数の減少が生じたため、昨年度と比較すると、各種検定の受験機会が縮小してしまっただが、生徒が一度でも受験機会を得ることができれば、検定取得への意欲向上が図れるとの見込みから、継続して補助を行った。</p>
評価と今後の課題等	<p>検定取得の推進については、各学校の経営目標においても目標値をあげており、更なる受験機会の拡充が望まれる。次年度は予算を拡大することで、受験機会を創出し、資格取得へ向けた学習意欲の向上を支援する。</p>


重点施策2 「豊かな心を育む教育の推進」

取組	全教育活動を通じた人権尊重の精神の涵養や人間関係形成力の育成
内容	<p>小学校では、「令和元・2年度人権教育推進校」に指定されており、インターネットでの誹謗中傷、プライバシーの侵害といった人権問題について、様々な角度から「誰かのことではなく自分のこと」として捉え、考える授業を行った。</p>  <p>また、法務省が実施する「人権の花運動」に取り組み、子どもたちが協力し育てることによって生命の尊さを実感し、思いやりの心を体得した。</p> <p>中学校は、法務省が実施する「人権週間」に合わせて、「道徳 種をまこう」を扱う授業を行い、敬称を付けて呼び合うことで、お互いの立場を考え、尊重しあうことを学んだ。</p>
評価と今後の課題等	<p>小学校については「人権教育推進校」に指定されたため、様々な取り組みを行ったが、次年度以降にも継続して取り組むことが課題である。</p> <p>中学校については、毎年度人権週間に積極的に取り組み、その成果が明確である。引き続き、取り組みを強化していく。</p>

取組	いじめや不登校の未然防止と組織対応を重点とした取り組みの推進
内容	<p>小・中学校ともに学校いじめ防止基本方針を定め、未然防止、早期発見にむけた体制作りを行っている。</p> <p>また、スクールカウンセラーの活用を通し、児童生徒が相談しやすい環境づくりにも重点を置いている。</p> <p>ふれあい（いじめ防止強化）月間を実施し、いじめ・不登校に対する取り組み状況の明瞭化を図るとともに、各学校からの不登校児童生徒状況報告書の提出によって、教育委員会と学校間での連絡体制の構築をしている。</p>
評価と今後の課題等	<p>いじめ・不登校については常に取り組むべき内容であり、「未然防止、早期発見」と「地域・学校の連携」に向けた体制作りが非常に重要である。今後も、引き続き取り組むとともに、必要に応じて見直しを行う。</p>

重点施策3 「健やかな体を育む教育の推進」


取組	健康教育の推進
内容	<p>児童生徒の定期健康診断について、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、学校保健安全法に定める期日までに実施できなかったが、9月下旬に感染症対策を講じたうえで実施した。</p> <p>例年通り、児童生徒の健康状態についての診断を行い、概ね良好であることを確認した。</p> <p>また、令和3年度に就学する児童への「就学前健診」も例年通り実施し、アレルギーの有無や、就学にあたり不安な点を確認した。</p>
評価と今後の課題等	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、定期健康診断の実施も危ぶまれたが、徹底した感染拡大防止を実施したことで、例年通りの内容で定期健康診断を実施できた。次年度は、保健指導等を含めた健康教育の推進を図っていく。</p>

取組	体力向上に向けた推進
内容	<p>各領域で専門性の高い外部講師を招聘し、運動能力の向上や体を動かす楽しさを実感する出前事業を実施するもの。</p> <p>今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大の為、当初の計画を変更しタグラグビー教室のみ開催。保育園児・小学生を対象に元7人制ラグビー日本代表の石川安彦氏を招聘し、学年毎に内容を変えた教室を実施した。</p>
	
評価と今後の課題等	<p>2019年のラグビーワールドカップの影響もあり、子供たちのラグビーへの関心も高く、タグラグビーというスポーツに触れる中で体を動かす楽しさや、作戦を練ってチームで動く事の重要性を実感できた。今後は新型コロナウイルス感染症の状況にもよるが、計画通りランニング教室や、ダンス教室等も開催していく。また、来年度より調整力の向上に向</p>

	けた取組みにも力を入れ、体幹を鍛えて運動感覚を磨くコーディネーション教室の開催や、教員・保護者向けの講習会を計画する。
--	---

重点施策4 「児童・生徒の学びを支える環境づくり」

取組	学校施設・設備等の機能維持・向上の推進
内容	<p>まず初めに、学校施設の老朽化に対応するため、小学校の渡り廊下改修及び東校舎の防水改修を行った。渡り廊下については、経年劣化に加え、令和元年の台風15号による損害を受けたことから、令和元年度に設計を行い、令和2年度に全面改修工事として着工したものである。東校舎についても、台風15号襲来の際に防水機能が十分でないことが判明したため、内装、建具及び防水の改修を渡り廊下の改修と併せて着工した。</p> <div data-bbox="497 952 1348 1232"> </div> <p>次に、児童生徒がより良い教育環境で学習ができるよう、黒板灯の設置と校内放送設備の改修設計を行った。</p> <p>黒板灯は、学校薬剤師より「小学校の黒板の照度が学校環境衛生基準を下回っている。」との指摘を受け、児童の学習環境改善のため、普通教室6教室、特別教室等4室へ設置した。</p> <p>校内放送設備は、老朽化した部分を改修するための調査及び設計を行っている。</p>
評価と今後の課題等	<p>次年度は、小学校の耐震改修工事、中学校の校内放送設備改修工事が予定されている。学校環境の改善は、児童のために優先して行うべき自治体の役目でもあるため、今後も継続して取り組んでいく。</p>

取組	ICT 機器の活用推進及び計画的な更新
内容	<p>新型コロナウイルス感染症対策に伴うオンライン学習（遠隔教育）の推進により、1人1台端末の導入や、1Gbps以上の通信環境の整備を前倒しして実施した。</p>  <p>また、今後の災害や感染症の蔓延による緊急事態を想定し、Webカメラやマイクを活用した遠隔教育の推進や、教職員用のテレワークシステムの構築などについても急速な整備が行われた。</p>
評価と今後の課題等	<p>当初予定していた「令和5年度までの1人1台端末の配備」を前倒しして実施しているため、現場の教員がそのスピードについていけず、活用できる教員と、そうでない教員で指導力に差が出てしまうという懸念事項が一般的に想定されている。今後は、「導入した後の取組」として、利用研修の実施や相談窓口の提供を行っていくことで、教職員のICT教育における指導力向上を図り、児童生徒が1人1台端末を十分に活用できるような環境づくりにつなげていく。</p>

取組	児童・生徒一人一人の状況に応じた支援の充実
内容	<p>特別支援教育推進連絡協議会を今年度は3回開催した。議案は、入級・入室判定3件とその他情報交換となっている。</p> <p>また、今年度は「神津島村の特別支援教育」についてのリーフレットを作成し、子育てでの「困り感」を感じて相談をする保護者へ「神津島村の発達障害教育」の概要、取り組みを周知できるような体制づくりを行った。</p> <p>神津島村奨学資金貸付制度については、島外進学者に対する支援制度としての役割を維持しながら、貸付を行っている。今年度の新規貸付者は、私立大学進学者3名、私立専修学校進学者4名となった。</p> <p>また、令和3年度より「奨学資金給付制度」を設けることで支援を拡充し、離島留学生を含めた生徒の内、「都立神津高等学校での3年間の平均評定4.5以上の生徒」に対し、給付型の奨学金を支給する取組を行っている。</p>
評価と今後の課題等	<p>特別支援教育については、学校と保護者での連携構築、発達障害教育の普及等の活動について、積極的に取り組んだ。次年度は、地域に向けた普及・理解の発展、連携の強化について取り組む必要がある。奨学資金制度については、支援制度の拡充について重点的に取り組みを行った。次年度については、新しい「給付制度」の周知を進め、未来を担う「神津島の子供育成」につながる事業の一環としての確立を目指す。</p>

重点施策5 「誰もが生き生きと学び、活動する環境づくり」

取組	多様な文化を学ぶ環境の整備
内容	<p>離島という狭いコミュニティーの中で生活している子供たちが、別の地域に於いてさまざまな人と接し、触れ合うことにより多様性の心を育てていくもの。</p>
評価と今後の課題等	<p>今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の為、奥多摩町への訪問、奥多摩町の子供たちの来島、また佐久市へのスキー教室が中止となり、交流体験を実施できなかった。また、中学生の希望者が海外からの旅行者と接する、おもてなし研修もコロナ禍の状況下で希望者がいなかったが、来年度以降も計画を</p>

	継続し、島の子供たちにとって刺激となる交流を目指したい。
--	------------------------------

取組	スポーツ、学習環境の整備
内容	村民大運動会を実施し、小・中・高、他、商業団体と連携・協力し子供たちが活躍できる環境づくりを進める。また、学習環境の整備として、しま小屋・学童クラブ・小学校・教育委員会での合同会議を開催し、情報共有を図り、より良い環境整備に努める。
評価と今後の課題等	村民大運動会については新型コロナウイルス感染症の拡大状況から中止となった。しま小屋・学童クラブ・小学校・教育委員会での合同会議は4月、6月、11月の3回開催し、気になる児童の情報共有や役割分担、他、確認事項について情報を共有した。今後についても同会議を継続し、それぞれの立場からの意見を出し合い、情報を共有していく。

取組	多様な学びや活動のニーズに応える機会を提供する
内容	文化、スポーツ、学習活動を振興するために郷土資料館に於いて無料開放日を設定し、村民の郷土や歴史への理解を深める。また、スポーツ指導者派遣事業を実施し、各分野のスペシャリストを招聘しスポーツへの関心や運動能力を高めていく。 スキー教室については、普段、雪に触れる機会の少ない子供たちが、スキー等を通じて雪を体験し、集団行動を学ぶ。
評価と今後の課題等	資料館の無料開放及びスキー教室については新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑み、中止とした。また、スポーツ指導者派遣事業に於いては、バドミントン教室、サッカー教室を開催。各部門のスペシャリストによる指導により、子供たちの技術の向上を図った。 来年度は文化財ウィーク（11月3日の前後1週間程度）の開催を計画し、併せて郷土資料館の無料開放日を設定する。スポーツ指導者派遣事業及びスキー教室については来年度以降も計画、実施を予定している。

重点施策6 「文化の継承と創造」

取組	文化・歴史の継承と発展
内容	<p>次世代を担う子供たちや、村民を対象に伝統文化・地域の歴史に触れる機会を創出する。また、村民がさまざまな形で文化・芸術に触れる環境を整えることにより、生きがいや社会参加、ひいては地域の活性化に寄与するように、村民と協働して文化・芸術の振興に取り組む。</p>
評価と今後の課題等	<p>伝統文化に於いては「神津島太鼓」等の団体に指導者指導謝礼金を支出しており、伝統文化の継承、次世代への技術の継承を行っている。また、小学校の3年生の総合の時間には「神事 かつお釣り」を研究し、再現し、1年生の児童の前で発表した。</p> <p>文化芸術については村民を対象に落語会を計画したが新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い中止とした。また、村民の吹奏楽団であるブルーカレンツに対しては青少年の補助金を支出し、文化振興、活性化に寄与している。</p> <p>今後については新型コロナウイルスの感染拡大状況を鑑みつつ、隔年開催のふるさと文化展の開催や村民が楽しめる文化イベントや伝統文化の発表の場を創出していく。</p>

取組	新しい文化の創造と発信
内容	<p>今年度文化庁が実施する「文化芸術による子供育成総合事業」に小学校、中学校ともに申込申請を行い、実施校として採択された。</p> <p>小学校は「芸術家派遣事業」として現代舞踊（ダンス）を実施した。CD音源に合わせ、ヒップホップダンスを踊る内容であり、プロダンサーの指導によって、神津島ではあまり体験できないような文化との触れ合いを体験した。</p>  <p>中学校は「巡回公演事業」として能楽囃子の見学、楽器体験を実施した。生徒は日本の伝統芸能と直接触れ合うことで、CDやDVD等では得られない緊張感や迫力を体験した。また、有意義な時間を過ごすことで、その他の伝統文化への興味や意欲も向上した。</p> 
評価と今後の課題等	<p>今年度は、新型コロナウイルス感染症対策を徹底的に行いながら実施した。中学校も芸術家派遣事業の実施が決まっていたが、感染の再拡大により中止となってしまった。</p> <p>次年度についても、小学校、中学校ともに文化庁事業への申請を行っている。今後も、神津島では体験できないような新しい文化へ触れ合う機会を創出していく。</p>

5. 評価・点検の結果

① 最終評価

重点施策1「確かな学力を育む教育の推進」			
最終評価	A	評価の割合	A:75% B:25% C:0% D:0%
		改善すべき要素	<input type="checkbox"/> あり
			<input checked="" type="checkbox"/> なし
評価委員のコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・しま小屋をはじめ小学生からの基礎学力の成果が表れ良い結果になっていると思います。各検定受験においても受講意欲が継続され、特に今後も国際教育として英検取得に取り組んでいただきたい。また中学校での学習部設立により中学、高校卒業後の進学成果に期待します。 ・神津高校での離島留学生事業は、留学生自ら先頭にたち企画・行動し、島の子供たちにとっても大変良い刺激になり、学力向上にもつながっていると思います。 ・基礎が本当に大切ですね。成果が出ている様子でうれしく思います。 ・小学校の「しま小屋」や中学校の「学習部」等とても良いと思います。その反面、これらの取組が難しい子やそもそもその全体指導においての学習についていけず、取り残されてしまう子がいないよう適切なサポートを望みます。 		

重点施策2「豊かな心を育む教育の推進」			
最終評価	A	評価の割合	A:50% B:25% C:25% D:0%
		改善すべき要素	<input checked="" type="checkbox"/> あり
			<input type="checkbox"/> なし
評価委員のコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校、中学校とも人権教育に取り組んできてはおりますが、結果としてなかなか目に見えにくいものであると思います。先生方や周りには見えない部分での小さいじめは少なからずあると感じています。それが原因とは言いませんが不登校の児童生徒がでてしまうのも悲しいものです。家庭環境もあるかと思いますが、先生方はもちろん、私たちも常に子供たちの心のアンテナを感じ取っていきたいと思います。人を人として誰一人分け隔てなく接し合い、尊重し合える心を育てていただきたいと願います。 ・コロナの影響を受けながらも対応を工夫し、努力されたと思います。 ・SCの活動について、計画や状況（内容）等を知りたい。 		

重点施策3「健やかな体を育む教育の推進」

最終評価	B	評価の割合	A:50% B:50% C:0% D:0%
		改善すべき要素	<input type="checkbox"/> あり
			<input checked="" type="checkbox"/> なし
評価委員のコメント	<p>・今年度はコロナ禍で何もできなかったもので、仕方ない。来年度は子供達の生き生きとした姿が見られるでしょう。</p> <p>・全国的なことかもしれませんが、ここ近年は子供たちの運動能力が全体的に低くなってきているように感じます。学校以外での日常的な昔ながらの子供の遊び方が変わってきたので仕方のないことかもしれませんが、学校、教育分野だけでなく村全体で、子供たちの運動能力がバランスよく底上げできる仕組みづくりを望みます。</p> <p>・コロナの影響を受けながらも努力され、ご苦労が伺える。</p> <p>・学力が向上するのは素晴らしいが、運動能力が低下しているように見える。</p>		

重点施策4「児童・生徒の学びを支える環境づくり」

最終評価	A	評価の割合	A:50% B:50% C:0% D:0%
		改善すべき要素	<input type="checkbox"/> あり
			<input checked="" type="checkbox"/> なし
評価委員のコメント	<p>・事務局、村による環境整備への早めの対応で充実したものとなっているかと思えます。ICTにおいても良くなっていますが、記載にもあるように先生方の対応力の向上を図ることが出来ればと思う。</p> <p>・更なるICT活用を期待します。ドライアイ等の予防対策をされると尚良いかと思えます。</p> <p>・奨学金制度の給付制度についても、神津高校への進学や在校生徒たちの学力や進学に対する意欲向上に非常に良い取り組みなりますし、保護者にとっても評価すべき支援策だと思えます。今後も継続できることを期待します。</p> <p>・高校生への給付型の奨学金は、人数が多くなった場合対応できるのか。</p>		

重点施策5「誰もが生き生きと学び、活動する環境づくり」			
最終評価	B	評価の割合	A:0% B:100% C:0% D:0%
		改善すべき要素	<input type="checkbox"/> あり
			<input checked="" type="checkbox"/> なし
評価委員のコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・小、中、高を通じ、授業に対する環境ができていると感じます。子供たちが自ら積極的に手を挙げ発言する姿、授業態度も昔と比べて非常に良く、生き生きと学んでいるように感じます。 ・コロナの影響で実施できなかった事業については大変残念。実施できる範囲でできることをよく対応されたと思う。 		

重点施策6「文化の継承と創造」			
最終評価	B	評価の割合	A:50% B:25% C:25% D:0%
		改善すべき要素	<input checked="" type="checkbox"/> あり
			<input type="checkbox"/> なし
評価委員のコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化の継承は大変良いと思う。今後も継続してください。 ・島外の新しい文化に触れ、将来を担う子供たちの発展も大事ではあるが、この神津島にしかない文化・伝統の継承も必要ではないかと感じます。歌、踊り、言葉など現在では失われつつあります。少しでも先人たちが培ってきた文化・歴史が伝えられれば良いかと思えます。 ・神津の方言が無くなっているのではないかと心配している。 ・新しい文化の取り入れは大変良いと思う。どんどん取り入れて実施してください。 ・文化庁実施事業は大変興味深く、有意義と感じる。 ・神津島文化の継承の一環として、村文化財や伝統（料理・おかし等）に子供たちが触れる機会を官・民で取り組みれば素晴らしいと思えます。 ・今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の為、色々な行事が中止になった事は残念ですが、次年度は平常に行えることを期待します。 		

② まとめ ～令和２年度振り返りと今後に向けて～

令和２年度の教育委員会の活動実績と取組事業について、教育委員からの意見を踏まえ、点検・実施しました。事業全体では、令和２年度「神津島村教育振興プラン」に掲載した事業を中心に、着実に推進したと考えています。教育委員から指摘のあった点を振り返りながら、今後の考え方を示します。

(1) 教育委員会の活動について

教育委員会会議の開催に当たっては、事前に議題を周知し個々の課題意識を高めたうえで様々な角度から検討を行い、会議における審議の精度を高めるよう努めました。会議では、「神津島村教育大綱」「神津島村教育振興プラン」の策定など、今後の教育行政を進めるうえで重要となる計画等を策定しました。

常に学校の状況を認識しながら審議に臨み、子供たちにとってよりよい教育行政を進めていくことができるよう、今後も事前勉強の実施や学校訪問を行います。

(2) 主たる取組事業について

① 確かな学力を育む教育の推進

【教育委員からの意見】

- 基礎が本当に大切ですね。成果が出ている様子でうれしく思います。
- 小学校の「しま小屋」や中学校の「学習部」等とても良いと思います。その反面、これらの取組が難しい子やそもそもの全体指導における学習についていけず、取り残されてしまう子がいないよう適切なサポートを望みます。
- 神津高校での離島留学生事業は、留学生自ら先頭にたち企画・行動し、島の子供たちにとっても大変良い刺激になり、学力向上にもつながっていると思います。

学力向上には、基礎的な知識・技能の定着と考える力をバランスよく育むことが欠かせません。授業改善を小中連携の柱として位置付けて継続的に推進していくことが大切です。また、良い意味での競い合いも必要です。

令和3年度は、教育庁大島出張所の指導主事による授業観察及び指導を今年度以上に実施することで授業力を向上させていきます。また、授業以外での学びを引き続き充実させていきます。授業改善と個別指導の徹底で「どの子も取り残さない」教育を推進していきます。

② 豊かな心を育む教育の推進

【教育委員からの意見】

- 小学校、中学校とも人権教育に取り組んできてはおりますが、結果としてなかなか目に見えにくいものであると思います。先生方や周りには見えない部分での小さないじめは少なからずあると感じています。それが原因とは言いませんが不登校の児童生徒がでてしまうのも悲しいものです。家庭環境もあるかと思いますが、先生方はもちろん、私たちも常に子供たちの心のアンテナを感じ取っていきたいと思います。人を人として誰一人分け隔てなく接し合い、尊重し合える心を育てていただきたいと思います。
- SCの活動について、計画や状況（内容）等を知りたい。

「いじめは全ての学校で起こりうる」という認識で子供たちの状況を把握することが何よりも重要です。学校が子供たちにとって安全で安心できる居場所になっていることが大切です。

全ての授業を通して、一人一人の人権が尊重されることを目指します。また、SC（スクールカウンセラー）、養護教諭など担任以外の職員にも話しやすい雰囲気をつくりだし、悩みを一人で抱え込

まないようになっています。SC の状況については守秘義務の範囲内で周知していきます。

③健やかな体を育む教育の推進

【教育委員からの意見】

- 今年度はコロナ禍で何もできなかったもので、仕方ない。
- 全国的なことかもしれませんが、ここ近年は子供たちの運動能力が全体的に低くなってきているように感じます。学校以外での日常的な昔ながらの子供の遊び方が変わってきたので仕方のないことかもしれませんが、学校、教育分野だけでなく村全体で、子供たちの運動能力がバランスよく底上げできる仕組みづくりを望みます。

子供たちの運動能力の低下は教育委員会としても感じています。組織的・継続的に手立てを講じていくことが大切と考えています。講師を招聘しての事業とともに、島内の人材が講師となって取り組む事業を立ち上げていきます。体育の授業で全力で体を動かすこと、調整力を育むトレーニングを意図的に実施していきます。

④児童・生徒の学びを支える環境づくり

【教育委員からの意見】

- 事務局、村による環境整備への早めの対応で充実したものとなっているかと思います。ICTにおいても良くなっていますが、記載にもあるように先生方の対応力の向上を図ることが出来ればと思う。
- 更なる ICT 活用を期待します。ドライアイ等の予防対策をされると尚良いかと思います。
- 奨学金制度の給付制度についても、神津高校への進学や在校生徒たちの学力や進学に対する意欲向上に非常に良い取り組みになりますし、保護者にとっても評価すべき支援策だと思います。今後も継続できることを期待します。

全ての子供が能力を開発できる学びの環境を整えていきたいと考えています。ICT を活用する環境が整いました。まず教員の研修を計画的に実施していきます。また、奨学金制度については知らないことで申請しないことがないように周知していきます。

⑤誰もが生き生きと学び、活動する環境づくり

【教育委員からの意見】

- 小、中、高を通じ、授業に対する環境ができていると感じます。子供たちが自ら積極的に手を挙げ発言する姿、授業態度も昔と比べて非常に良く、生き生きと学んでいるように感じます。
- コロナの影響で実施できなかった事業については大変残念。実施できる範囲でできることをよく対応されたと思う。

新型コロナウイルスの感染状況の改善をまって、他市町村との交流事業、村民活動を積極的に実施していきます。

⑥文化の継承と創造

【教育委員からの意見】

- 島外の新しい文化に触れ、将来を担う子供たちの発展も大事ではあるが、この神津島にしかない文化・伝統の継承も必要ではないかと感じます。歌、踊り、言葉など現在では失われつつあります。少しでも先人たちが培ってきた文化・歴史が伝えられればいいかと思えます。
- 神津島文化の継承の一環として、村文化財や伝統（料理・おかし等）に子供たちが触れる機会を官・民で取り組めれば素晴らしいと思えます。

故郷の文化に触れて理解を深め愛着をもつことは、将来どこで生活しても自分らしく生きることの基盤です。新型コロナウイルスの感染状況の改善をまって地域の伝統文化・歴史に触れる機会を増やしていきます。

令和2年度 教育委員会の評価・
点検報告書（令和2年度事業分）

令和3年2月発行

発行 神津島村教育委員会
編集 神津島村教育委員会 庶務・学校係
東京都神津島村 904 番地
電話：04992-8-1222 FAX：04992-8-1940